



## 2年生(普)総探 統計データ利活用講座

### 感覚より、根拠。～客観的なデータが、次の一步を導く～

9月9日と29日、和歌山県データ利活用推進センターの山中彩光氏と田原原滉氏をお招きし、「統計データ利活用講座」を実施しました。本講座は、2年生普通科「総合的な探究の時間」の授業の一環として行われ、各分野1時間ずつ、統計データの活用方法を学びました。

授業の前半では、課題解決に向けて**上質なデータに基づくエビデンス・ベースで考察することで、客観性が生まれ、より説得力のある成果を出す**ことができるということが説かれました。後半では、タブレット端末を用いて複数の統計ツールを実際に操作しながら、目的に応じたデータの収集・整理・分析の方法を学びました。

多くの情報が簡単に手に入る現代において、**信頼性の高いデータを見極めて正しく活用することは、将来どのような進路でも求められる重要なスキル**です。本講座はその力を身につけるための貴重な機会となりました。教えていただいた統計ツールを以下に紹介します。ぜひ使ってみてくださいね。



- ・ **e-stat**・・・日本の統計を閲覧、ダウンロードができる。調べたいデータの調査名や項目がすでに決まっている場合にオススメ。
- ・ **統計ダッシュボード**・・・日本の主要な統計をグラフで見ることができる。調査名が分からない時や、まずはどんなデータがあるのか見てみたい時にオススメ。
- ・ **RESAS**・・・地域経済に関連するデータをグラフで見ることができる。国の統計以外に、民間企業が提供するデータも併せて見ることができる。
- ・ **JSTAT MAP**・・・日本の主要な統計を地図に表示して見ることができる。人口や年齢階層で地図を色分けしたり、任意の地点の周辺の人口を調べたりできる。

### 統計データ利活用講座に参加して ～振り返りシートより～

データを探してみると、自分が探していたデータにたどり着くことができた。自分の目的にあったサイトがたくさんあった。

自分たちが知りたいデータを google などの画像欄で探すだけでなく、県や国から公開されているサイトなどからデータをうまく利活用していきたいと感じた。

きちんと信頼性のあるデータを正確に読み取り、客観性のある納得できる資料を作りたい。

PPDAC サイクルが問題解決の方法だということがわかった。信頼性のある情報収集の方法がわからなかったけど、知ることができたので使っていこうと思う。

